

課題研究 論文・要旨作成について

論文	初版締め切り	月	日
	最終締め切り	月	日
要旨	締め切り	月	日

【論文の作成について】

論文は1年間のみなさんがやった研究の記録です。

次の人が同じ実験がきちんとできるように、特に実験方法は詳しく書いておきましょう。

引き継いでくれる後輩のために！！ 「課題研究メソッド p126～」を見ながら進めよう！

「 タイトル 」

【所属・研究者氏名・指導者氏名】

1. 序論 : 問題提起をする・論文の前置き 次の3つのポイントを押さえておこう！

- (1) 背景
- (2) 目的
- (3) 意義

※ ここまでの背景は大切です。発表会で指摘されたこと、わからないことはもう一度調べ直して、記載しておきましょう。

2. 研究手法 : やった研究手法の妥当性と、読者が研究を再現できるようにする。

- (1) 目的
- (2) 方法と理由
- (3) 研究対象・試料
- (4) 手順
- (5) 分析・結果のまとめ

※ 後輩たちが引き継いだときのために、この論文を見て同じ実験ができ、同じ結果になるように丁寧に、詳しく書いておきましょう。

3. 結果 : 結果（数値を含めて）を正確に表記する
図やグラフはわかりやすいように、適切なものを作成する

4. 考察 : 「考察」は感想ではなく、事実に基づいて分析する

5. 謝辞 : 誰がどのようにに関わり、研究の手助けをしてくれたのかを記載し、
に感謝の意を表しましょう

6. 引用文献・参考文献: 引用箇所、出典がわかるように記録しておく
インターネットで検索した場合はアドレスを全て記入する。(p28 参照)

7. 付録 : 結果や考察に用いた生データ（加工していないもの）を載せる。

【論文の様式（島根県理数科発表会の様式に準じます）】

1. 原稿は Word で作成
2. 原稿はA 4 縦版横書き (40 字×40 行)、上下・左右余白とも 30mm、文字サイズ 10.0pt に設定
3. 写真掲載の場合、貼付された写真の解像度が落ちることがあります。
4. 原稿の体裁は、下記のとおりとします。

← 研究テーマ	〇〇〇〇〇〇 立 〇〇〇〇〇〇 高等学校 〇〇 年
	研究者氏名 〇〇〇〇 ・ 〇〇〇〇 ・ 〇〇〇〇 ・
	〇〇〇〇 ・ 〇〇〇〇
	指導者氏名 〇〇〇〇
※一行あける 書き出す	

5. 番号の打ち方

- 1 序論
 - (1) 背景
 - ①
 - (ア)
 - (イ)
 - ②
 - (2) 目的
 - ①
 - ②
- 2
 - (1)

6. 論文は4 ページ以上にすること、上限はありません。

7. 図や表を入れた場合は、図表番号をつけることを忘れないでください。

8. わかりにくいことや、書き方に困ったときは 参考にしてみてください。

- ★「これから研究を始める高校生と指導教員のために」共立出版
- ★ 随時、他校の論文集・過去の先輩方の論文集を本棚に補充しておきます。
- ★ もちろん、指導担当の先生や秋吉に気軽に質問してもらってもかまいません。

9. 論文の書き方については、「課題研究メソッド」第 5 章（P126～）を参考にしましょう。

【要旨の様式（島根県理数科発表会の様式に準じます）】

1. 原稿は Word で作成
2. 原稿はA 4 縦版横書き (40 字×40 行)、上下・左右余白とも 30mm、文字サイズ 10.0pt に設定
3. 写真掲載の場合、貼付された写真の解像度が落ちることがあります。
4. 原稿の体裁は、下記のとおりとします。

← 研究テーマ	0 0 0 0 0 0 0 立 0 0 0 0 0 0 0 高等学校 0 0 年
	研究者氏名 0 0 0 0 ・ 0 0 0 0 ・ 0 0 0 0 ・
	0 0 0 0 ・ 0 0 0 0
	指導者氏名 0 0 0 0
※一行あける 書き出す	

5. 番号の打ち方

- 1 Abstract（要旨）・・・述べようとする内容の主要な点を短くまとめたもの。論文に書いた 1～4 の要素が入るように書くこと。かつ、英語で書いてみましょう
- 2 研究背景
- 3 研究目的・意義・・・ 2～6 は論文の本文で述べたこと
- 4 研究手法 のトピックセンテンスをつなげましょう
- 5 結果・考察
- 6 結論および今後の展望
- 7 参考・引用文献・・・引用文献、参考文献は諸省略せず書きましょう。

6. 要旨は 1～2 ページ にすること。

7. 図や表を入れた場合は、図表番号をつけることを忘れないでください。

8. わかりにくいことや、書き方に困ったときは 参考にしてみてください。

- ★「これから研究を始める高校生と指導教員のために」共立出版
- ★ 随時、他校の論文集・過去の先輩方の論文集を本棚に補充しておきます。
- ★ もちろん、指導担当の先生や秋吉に気軽に質問してもらってもかまいません。

9. 要旨については「課題研究メソッド」第 5 章（p123）の「研究要綱の作成」を参考にしましょう。

10. 大事！！

どのデータも秋吉に提出する前に、必ず担当教員のチェックを受けてから提出です。